



おくたま 町議会だより

第190号
令和元年 8月5日発行



編集・発行 奥多摩町議会 電話 0428-83-2302(直通) 奥多摩町ホームページ <http://www.town.okutama.tokyo.jp/>

奥多摩町議会議員管外視察研修



○北海道芽室(めむろ)町議会議場にて

6月27日(木)～28日(金)、議員12名と議会事務局の澤本事務局長、原島主任、天野総務課長の総勢15名で北海道芽室町議会を訪れ、「議会ICT化(タブレット導入)」と「役場庁舎建設」について視察いたしました。芽室町議会は早くから議会改革に取り組み、「芽室町議会基本条例」も制定し、平成26年から5年連続、早稲田大学マニフェスト研究所の議会改革度調査ランキング全国1位になっています。その議会改革のひとつとして「議会の見える化」「ペーパーレス化等の効率化」を図るためにタブレットを導入しています。また芽室町は現在、役場庁舎の建て替えを実施していますが、建設構想にあたり議会として「役場庁舎建設基本構想に関する調査特別委員会」を設置し、調査、議論を尽くし、住民意見も取り入れた申し入れなどを行っており、議会の掲げるスローガン通り、「住民に関われ、分かりやすく、活動する議会」となっています。奥多摩町議会もタブレット導入を予定していること、新庁舎建設に向けていよいよ計画策定の動きが出てきた事から、先進的な取り組みをされている芽室町議会を視察いたしました。(P10に続く)

第2回定例町議会

第2回定例会は、6月11日から6月13日までの、会期3日間
にわたり開催されました。

町長提出議案と結果

次の議案が提出され、いずれも全議員の賛成により、原案のとおり承認、可決、同意されました。

【 専決処分 】

- 議案第41号
平成30年度一般会計補正予算(第7号)
- 議案第42号
町税賦課徴収条例等の一部を改正する条例
- 議案第43号
国民健康保険税条例の一部を

改正する条例

- 議案第44号
介護保険条例の一部を改正する条例

【 条 例 】

- 議案第45号

おくたまコミュニティセンターの設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例

【 契 約 】

- 議案第46号

大丹波国際釣場管理棟建設工事請負契約について

- 議案第47号

防災行政無線戸別受信機設置委託契約について

- 議案第48号

ポンプ自動車購入契約について

【 財 産 】

- 議案第49号

普通財産の無償貸付の変更に
ついて

【 指定管理者の指定 】

- 議案第50号

古里診療所の指定管理者の指定について

【 人 事 】

- 議案第51号

固定資産評価審査委員会委員の選任の同意
山宮敏夫氏(再任)
(小丹波471番地の3)

【 補正予算 】

- 議案第52号

一般会計(第1号)

陳情の取扱い

この定例会で審議されたのは、陳情1件で、次のように決定しました。

【 不採択としたもの 】

○陳情第4号

奥山等のスギ・ヒノキ放置人工林を、森林環境譲与税で順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情書

請願・陳情は!

9月定例会では、8月23日までに受理したものを審議します。それ以降の受付の場合は、次回定例会で審議することになります。提出する際は、次のことにご注意ください。

- ① 請願には必ず1人以上の紹介議員が必要です。
(陳情は不要です)
- ② 請願・陳情者は、住所・氏名・電話番号を必ず記載し、署名(記名の場合は押印)してください。
- ③ 提出は議会事務局へご持参ください。(郵送不可)
- ④ 詳しいことは議会事務局にお問い合わせください。

一般質問

令和元年第2回定例会では、9名の議員が一般質問を行いました。ここでは、紙面の都合により、内容を要約して質問者順に掲載しています。質問・答弁の全文は、8月中旬頃より、ホームページで閲覧できます。(町ホームページ～町議会～会議記録(結果))

また、町内各図書館でも会議録をご覧いただけます。



QRコード

町ホームページは、スマートフォン・タブレット端末等でもご覧いただけます。

(1) 7番 宮野 亨議員 (4ページ)

- ①小型無人機ドローンで高齢ハンターの負担軽減へ
- ②運転免許証返納者等を含む買物弱者対策を

(2) 3番 澤本 幹男議員 (4ページ)

- ①梅沢橋の今後の計画について

(3) 8番 高橋 邦男議員 (5ページ)

- ①町の新庁舎建設について
- ②町の旧小中学校の木造校舎の活用・維持管理について

(4) 9番 原島 幸次議員 (5ページ)

- ①町所蔵の美術品、郷土資料、古文書、などの管理、保管について

(5) 1番 木村 圭議員 (6ページ)

- ①老人クラブの運営および名称変更について

(6) 6番 石田 芳英議員 (6ページ)

- ①奥多摩町内の「仕事づくり」について

(7) 5番 小峰 陽一議員 (7ページ)

- ①町営トイレの管理について

(8) 4番 清水 明議員 (7ページ)

- ①基金について

(9) 2番 大澤 由香里議員 (8ページ)

- ①木質バイオマス循環システム事業の持続・発展に向けて
- ②高齢者にゴミ袋支給を



みやの ひろし 議員

問 小型無人機ドローンで高齢ハンターの負担軽減へ

答 現時点では実用に至っていない

質問 鹿や猪などの鳥獣による農作物への被害が深刻化しており、国は2023年までに半減させる対策を打ち出している一方で、ハンターの高齢化や担い手の減少が進んでいる。

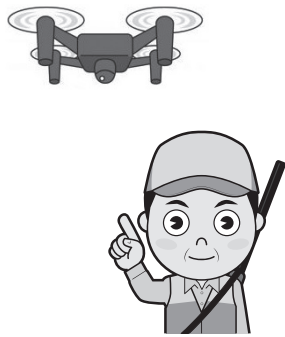
ある新聞記事では、携帯電話の端末を使い、猟犬に装着した発信器の電波を障害物が多い山中でも、上空に飛ばした小型無人機ドローンに中継させ、位置情報を得るとあった。

高齢ハンターの猟の効率化、負担軽減の為、ITを活用してはどうか。町からの助成は、意見を問う。

町長 質問にあった取り組みは徳島県那賀町の実証実験を新聞記事として取り上げたものと思われるが、担当者を確認したところ高齢者対策としてプログラミングしたドローンを使い食料を輸送させる、防災訓練など、複数の実証実験を行ったうちの1つであり、運用方法や費

用対効果などの検討を行い現時点では実用に至っていないとのこと。町では平成28年から国立情報学研究所とドローンの共同研究プロジェクトを進めているが、現状は人間のみを対象とした実験である。今後は、野生動物等への応用についても研究が進められるとのこと。

このため、より正確な人工知能によるドローンを研究、開発し、効果的に、また総合的に「獣害対策」ができるよう努めていくことを考えており、このことで、奥多摩猟友会の隊員の負担軽減にも努めていく考えである。



さわもと みきお 議員

問 梅沢橋の今後の計画について

答 修繕・解体撤去について合わせて検討したが、いずれも多額の費用を要する

質問 梅沢橋は、老朽化のため通行止めとなっている。取壊しをするのか、修繕するのか、どちらにしても多額の費用がかかる。

町は毎年、川井丹縄以西の多摩川沿いを遊歩道となるよう、東京都関係各局に予算要望している。ぜひとも実現していただきたい。

観光立町を目指す町として、観光客向けの絶景ポイントである奥多摩大橋の近くにあるこの梅沢橋の在り方は。

また、若者定住化対策で梅沢地域を有効利用する場合、この橋は川井駅までの通路として活用できることから改修が必要となる。今後の梅沢橋の計画を問う。

町長 現在梅沢橋は、利用者の安全確保及び事故防止の観点から立ち入りを規制している。現場では詳細な調査を行い、修繕あるいは解体撤去について合わせて検討したが、い

ずれも多額の費用を要することが確認され、町の昨今の厳しい財政事情から現在に至っている。

多摩川沿いの遊歩道については整備費用の面で川井丹縄から、多摩川左岸を上流に向かう遊歩道の整備ルート上に梅沢橋を位置付けることは困難との回答が東京都からきている。こうしたことから、町は引き続き梅沢橋の状況を監視しながら安全の確保に努め、今後、予算の確保を含め検討していく。



〈梅沢橋川井方面入口から撮影〉



たかはし くに お 邦 男 議員
高橋

問 町の新庁舎建設について

答 新庁舎建設に向けて早急な対応を図っていきたく考えている

質問 現在の庁舎は昭和59年に建設され35年が経過し、耐震性不足や施設の老朽化などから新庁舎の建設も遠い将来の話ではない。

町を動かす中枢である庁舎は町民が気軽に集える「拠り所的存在」という面と利用者の利便性や維持管理の経済性を考えなければならぬ。そこで、新庁舎における「町民の利便性・拠り所的存在」について町の考えを問う。

町長 現在の庁舎は、既存の建物を増改築したものである。庁舎の約半分、議場側の建物は昭和59年に増築し、建設から35年となるが、奥多摩駅寄りの建物は昭和40年に竣工した既存建物を改築し、今年で築54年となり、庁舎の老朽化に伴う補修すべき部分も多くなっている。このことから、町では平成25年度に奥多摩駅寄りの庁舎について、耐震診断を行った。その結果、総合所

見では、補強ではなく建て替えの選択肢もあるのではないかとの見解が示された。昨今、各地で自然災害が多発しており、現庁舎では地域住民の安全、安心を確保するための防災拠点としての役割が十分に果たせない状況であるとの基本認識をもっており、新庁舎建設に向けて早急な対応を図っていきたく考えている。

庁内での検討状況は、平成28年に副町長を委員長とし、管理職で構成する「新庁舎建設庁内検討委員会」の設置要綱を制定している。

新庁舎の建設は、議員が申されるように財源の確保や建設用地の選定を含め、多くの課題があるが、町議会議員や地域住民並びに関係機関のご理解ご協力をいただきながら慎重に進めていかなければならないと考えている。



はらしま ゆきつぐ 幸次 議員
原島

問 町所蔵の美術品、郷土資料、古文書、などの管理、保管について

答 総合的な資料館の建設は、既存の施設の有効活用を検討

質問 旧奥多摩町郷土資料館には国の重要文化財に指定された347点の資料があつたが、現在は水と緑のふれあい館の一室の展示で以前のような展示や保管がされていないように思える。

町所蔵の美術品、郷土資料、古文書などの品が何処にどれだけあるか、それらの管理、保管はどうなっているか。また、これらを一堂に見学できる総合的な資料館の建設の考えは。

教育長 郷土資料館の後継となる水と緑のふれあい館が平成10年に開館したが、建物全体の面積やデザインから、郷土資料の展示面積が縮小となったため、町内各施設に分散して保管及び展示している。町指定文化財等その他の物も含めると現在、管理所有している文化財の保管場所は7か所、概要は次のとおりである。

- ① 旧日原小学校2階教室
農機具・炭焼き道具・大工道具・動物剥製等百数十点。
 - ② 氷川小学校裏倉庫
糸つむぎ用具、高札、大福帳等の帳面、土器片等数百点。
 - ③ 町民ギャラリー2階(旧りそな銀行)
復元土器、古文書、絵画等数百点。
 - ④ 青目立不動尊施設内の土蔵・納屋
農機具等数十点を展示。
 - ⑤ 奥多摩文化会館2階通路
白丸遺跡出土品石器及び復元土器等数十点を展示。
 - ⑥ 周慶院上方の倉庫
大型農機具、消防手押しポンプ等数十点。
 - ⑦ 町役場海沢倉庫
小土器片・小石器片を数百点。
- 総合的な資料館の建設については厳しい財政状況のため、既存の施設の有効活用を検討していく。



きむら けい 圭 議員

問 老人クラブの運営および名称変更について

答 会員の創意工夫により、自主的な活動をされることに期待

質問 少子高齢化の中、高齢者が生きがいを持って暮らせることが大切である。老人クラブの活動は健康寿命を左右するものの一つと考え、役員を受ける人がいないため解散を余儀なくされた地域もある。補助金の交付のみならず、役員の負担軽減のためにも町の運営支援は必要と考えるが見直しは。

町長 また60歳代の会員が入会しやすい名称への変更について町の見解は。

町長 町は昨年度、老人クラブ連合会に年額59万8千494円、各単位老人クラブに一律年額27万3千600円の財政支援を行った。老人クラブ連合会の運営は、社会福祉協議会が事務局として関わり、各単位老人クラブの運営は、加入会員の皆さんで自主的に行っていたにすぎない。

役員負担軽減の観点から各単位の老人クラブも町の運営支援が必要ではないかとの質問をいただい

たが、町としては、会員の創意工夫により自主的に活動することで会員相互に互助の精神が生まれ、見守りや助け合いをはじめ、地域ぐるみの高齢者施策が増進されるものと考えている。

老人クラブの名称については、都内の区や市、西多摩地域で高齢者クラブ連合会に変更するところもあり、町でも「奥多摩町高齢者クラブ連合会」と名称を改める考えであることである。単位老人クラブの名称は、町が関与することはできないが、それぞれの単位老人クラブの発想により、加入したくなるような名称にされるものと思う。

いづれにしても、老人クラブのイメージアップや会員増強運動等は広報おきたま・防災無線等を通じて今後も支援し、引き続き「子どもから高齢者まで、誰もが健康で暮らしやすい町づくり」を推進していく。



いしだ よしひで 石田 芳英 議員

問 奥多摩町内の「仕事づくり」について

答 町内企業等の紹介を行い、雇用の場の確保に努める

質問 町は若者定住化政策を実施し、効果を得て来ている。居住環境充実の一方で、仕事面に関しては町外に仕事を求めるケースもある。町内の仕事量と種類を増やすことが必要では。

町長 ①今までの町内の「仕事づくり」の政策や実績についての状況。

②仕事の需要と供給の関係から、町内居住者が町外に仕事に出ている人数。

③町外から町内に仕事に来ている人数。

④役場職員における町内在住者と町外からの通勤者数、またその要因。

⑤「仕事づくり」は若者定住化の一方の柱と考えるが、今後の町内における「仕事づくり」の考えは。

町長 ①空家・空店舗を活用するため、「小規模事業者等進出に係る優遇措置実施要領」を制定し、1件の活用実績がある。

②平成27年度国勢調査によると町の就業者数は2千191人。町内で働く方は1千381人(63%)、町外で働く方は810人(37%)、内訳は都内区部47人(5.8%)、市部653人(80.6%)、西多摩郡の町村64人(7.9%)、都外は46人(5.7%)。

③流入通勤者950人のうち、都内区部6人(0.6%)、市部819人(86.2%)、西多摩郡の町村33人(3.5%)、都外は92人(9.7%)。

④平成31年4月1日現在町職員数128人のうち、町内在住71人(55.5%)、町外在住57人(44.5%)、災害対策用職員住宅への入居等、家族を含め総勢40人が居住しており、若者定住化の一助となっている。

⑤町内企業等にとっては、働き手の確保が課題であると聞いている。このことから移住希望者には、町内企業等の紹介を今後も積極的に行い、雇用の場の確保に努めていく。



こみね よういち 議員
小峰 陽一

問 町営トイレの管理について

答 町が管理するトイレは町内に41か所

質問 奥多摩町の町営トイレの管理について問う。

- ① 町が管理するトイレ数と設置場所。
- ② 前述のうち、クリーンキーパーが担当するトイレの数と設置場所。
- ③ クリーンキーパーが清掃作業をしていないトイレの管理。
- ④ クリーンキーパーの担当範囲を拡大していくことについて。
- ⑤ クリーンキーパーの就業体制（給与を含む）の状況。
- ⑥ 過去に新設又は改修した観光トイレで冬季に使用できないトイレの改修予定。
- ⑦ 川乗谷のバイオトイレは順調に稼働しているのか。
- ⑧ 今後の観光トイレ新設・改修計画。

清東園、川井駅、丹三郎直売所、丹三郎登山口、古里駅、小丹波駐車場、坂下登山口、鳩ノ巣駅、鳩ノ巣駐車場、白丸駅、白丸駐車場、数馬峠遊歩道、氷川駐車場、奥多摩駅、役場下、むかし道榎木、むかし道小中沢、むかし道惣岳、西久保の20か所。

- ③ 日原地区は「日原保勝会」、小河内地区は「一般財団法人小河内振興財団」、釣場やキャンプ場は「施設管理者」、鳩ノ巣登山口・大沢駐車場トイレは「地元自治会」へ委託している。
- ④ 今後、地域で清掃作業が困難な状況となった場合、対応を考えている。
- ⑤ 委託先の就業規則により対応。
- ⑥ 町内41か所のうち19か所に冬季の凍結防止対策で配管にヒーターを設置、残り2か所も今後対策予定。
- ⑦ 平成27年の秋以降、停止状態。
- ⑧ 町内41か所のうち、19か所は改修工事完了。令和元年度は奥多摩駅前観光トイレ他11か所を改修予定。



しみず あきら 議員
清水 明

問 基金について

答 後年度に財政負担を及ぼさないよう将来を見据えて基金を保有

質問 町には一般家庭に例えると、日々の生活費とは別に将来の生活設計に充てるための貯蓄に当たる基金と呼ばれる積立金がある。平成29年度決算によれば、約44億円で平成30年度予算からは更なる増額が見込まれる。財政環境は長期借入れを抑制しつつ、基金を積み立てる現在と、平成の時代だけみても大きく変化してきた。改元を機に基金の推移から平成の時代を振り返り、今後に向けた基金の在り方について町の所見を問う。

町長 平成元年度から7年度までは10〜14億円の積立金であったが、以降、文化会館やもえぎの湯建設等多くの大規模事業の執行に伴い、5〜6億円に減少した。しかし、その後の行政努力や都営水道への一元化、西秋川衛生組合等への加入により、将来にわたる財政負担の大幅な軽減を図ることができ、現状40億円

を超える基金現在高がある。

この内容は、下水道整備事業に用いた起債の償還財源としての減債基金、新庁舎建設用の庁舎建設基金、各施設の整備に用いる公共施設及び観光施設等整備基金、森林環境整備基金、防災減災基金など、いずれの基金も単に保有しているのではなく、目的を持っており、今後予定されているそれぞれの目的に活用される際に、後年度に財政負担を及ぼさないよう将来を見据えて基金を保有している。

令和時代は、始まったばかりではあるが、財政環境が厳しい状況はこれまでと変わらない、あるいは国や都並びに世界の経済状況等を鑑みると、これまで以上に厳しい道のりが控えているのではないかと考える。今後も持続可能な地域社会の実現のため、身の丈にあった堅実な行財政運営を進めていく。



議員 香里 由 大澤 小澤

問 木質バイオマス循環システム事業の持続・発展に向けて

答 森林は国民・都民の貴重な共有財産であるという理念のもと周知している

質問 町では木質バイオマス循環システム事業を行っている。その目的は、森林所有者やボランティアが搬出した木材の買い取り及び地域通貨による買い取りを行い、町内の森林資源の有効活用による森林整備の促進、地域経済の活性化及び森林環境の保全を図ることである。

奥多摩町木質資源循環システム構築計画書では「もえぎの湯で使用するチップ燃料を始めとした町内の木質資源を活用することにより、町内の貴重な資源が有効活用されるのみならず、新規雇用や新たな流通を生み出すことで経済を活性化させ、森林というフィールドを通じて町民や町を支えてくれる町外の方などが関わりを持つことで、森林・経済・人といった町のさまざまな資源が有機的に繋がりが合い、新たな町の活力へと結びつける」とのことだが、始動から5年経過し問題点

や課題等、関係者からも改善要望の声が聞こえてきている。持続・発展を願って町の考えを問う。

- ① 搬出にかかる費用の助成について。
② 「林業」の担い手の育成と雇用。
③ 買い取り時期を通年に。
④ 地域通貨取り扱い店の増加を。
⑤ 制度のPR強化を。

町長 ①②令和6年度に導入される「森林環境税」を「森林の間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用」に充てる。
③集積所運営管理業務・木質チップ製造業務の委託先と調整を行い、買い取り時期の拡大を検討する。
④利便性を高めるため登録店を増やすよう交渉を進める。
⑤森林は国民・都民の貴重な共有財産であるという理念のもと理解、協力を求め周知を行っている。

議会 日誌

5月

- 9日 防火女性の会懇親会
14日 西多摩郡町村議会議長会総会 身体障害者福祉協会総会
16日 東京都町村議会議長会役員会・総会・講演会・意見交換会
22日 老人クラブ連合会(友心大 学)総会
国会議員と地方六団体との意見交換会
24日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会理事会・総会
青梅商工会議所懇親会
消防団正副団長OB会定期総会
25日 奥多摩中学校体育大会
郷土芸能保存団体協議会総会
28日 全国町村議会議長・副議長研修会
青梅防犯協会定期総会
29日 全国町村議会議長会都道府県 会長会議
奥多摩観光協会総会
青梅交通安全協会定期総会
30日 三多摩地区消防運営協議会通 常総会
東京都市町村議会議員公務災害補償等組合議会臨時会

6月

- 1日 古里小学校運動会
2日 奥多摩ふれあいカヌーフェスティバル開会式
5日 町立小・中学校教育管理職歓 送迎会
6日 北京の夕べ
7日 北京ウィーク北京東京友好都 市関係締結40周年記念開会式 タンポポの会定期総会

7月

- 8日 氷川小学校「命の日」
13日 青梅警察懇話会懇親会
15日 小中PTA連絡協議会総会
20日 奥多摩木村奨学会合同会議
21日 シルバー人材センター定時総 会
26日 西多摩地区議議会定例会議
27日 28日 議員管外視察研修(北海道 芽室町)
2日 三か町村議会議員広域連絡協 議会総会
3日 春の交通功労者等表彰式
4日 5日 西多摩郡町村議会議長会優良 町村視察(岡山県吉備中央 町・鳥取県湯梨浜町)
7日 消防ポンプ操法審査会
9日 議会だより編集委員議会広報 研修

- 9日～10日 関東町村議会議長会都県町村議会議長会会長会議
- 13日 東京都市町村総合体育大会開会式
- 西多摩三師会講演会・意見交換会
- 16日 関東町村議会議長会退任役員表彰及び歓送懇談会
- 17日 全国町村議会議長会臨時総会
- 三多摩上下水及び道路建設促進協議会正副会長・委員長会議
- 全国町村議会議長会創立70周年記念祝賀会
- 18日 東京市町村総合事務組合議会議第1回臨時会
- 19日 町表彰審査委員会
- 22日 議会だより編集委員会
- 23日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第2委員会
- 24日 東京2020オリンピック1年前セレモニー
- 29日 三鷹立川間立体化複々線促進協議会、多摩地域都市モノレール等建設促進協議会合同総会
- 海外派遣事業壮行会
- 30日 東京都後期高齢者医療広域連合議会臨時会
- 東京都町村議会議長会臨時総会
- 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第1委員会

次回9月定例会日程（予定）

日	月	火	水	木	金	土
9/1	2	3 議会運営委員会	4	5	6	7
8	9	10 本会議 (議案審議)	11 本会議 (議案審議)	12	13 本会議 (一般質問)	14
15	16	17 決算特別委員会	18 決算特別委員会	19	20 本会議 (議案審議)	21

■午前10時開会 皆様の傍聴をお待ちしています。
お問い合わせ 議会事務局 ☎ 0428-83-2302（直通）



31日 西多摩地域広域行政圏協議会
審議会
大多摩観光連盟通常総会・会員情報交換会

これらの行為は全て禁止です!

入学祝い・卒業祝い

病氣見舞い

お祭りへの寄附や差し入れ

落成式・開店祝いの花輪

葬式の花輪・供花

結婚祝い・香典

運動会やスポーツ大会への飲食物の差し入れ

お中元・お歳暮

町会の集会や旅行等の催し物への寸志や飲食物の差し入れ

寄附はNO!

政治家は贈らない!

政治家が選挙区内の人や団体にお金や物を贈ることは時期や理由を問わず法律で禁止されています。

有権者は求めない!

有権者が政治家に対し寄附を求めることは禁止されています。

http://www.senkyo.metro.tokyo.jp/ 東京都選挙管理委員会 検索

東京都選挙管理委員会・東京都明い選挙推進協議会・区市町村選挙管理委員会・区市町村明い選挙推進協議会

奥多摩町議会議員選挙

今年の11月30日に任期満了となる奥多摩町議会議員の選挙が次のとおり執行されます。

告示日 11月12日（火）

投票・開票日 11月17日（日）

管 外 視 察 報 告

初日午後から芽室町議会議場で視察研修が行われ、芽室町議会における議会改革の歩みと ICT 化の取り組み、庁舎建設の過程について早苗議長、常通副議長、役場各担当者よりご説明いただきました。質疑応答では、タブレット導入における議員の習熟度の違いへの対策や利便性・機能性の詳細、庁舎建設計画における議会の関わり方など各議員から多くの質問が出されましたが、その都度、担当者の方より丁寧なご回答いただきました。

奥多摩町議会における今後のタブレット導入、そして新庁舎建設に関しても議会としての役割について大いに参考になった次第です。また視察の状況は、芽室町議会 Facebook にすぐ UP され、情報公開・情報共有の透明性や迅速性を実感し、また「議会機能の高さ」「住民参加の充実」などの知見も得て、奥多摩町議会が今後取り組む課題や必要性を改めて考えさせられました。

2日目は、富良野市民の発案と行動力によって誕生した「フラノマルシェ」も見学しました。“単なる通過型の「道の駅」ではなく、富良野ならではの「食文化」を通して、市民・商業者・観光客など、大勢の人々が集い、老若男女が楽しく交流する「まちの縁側」をめざした”というこの施設は、富良野の名産品や地元食材を使用したおいしいグルメスポットの他、イベントもできる広場や多目的スペースもあり、文字通り富良野市民の“縁側”になっていると感じました。観光の町づくりの面でも大変、参考になる有意義な視察研修となりました。

【視察幹事：高橋副議長、大澤議員、石田議員】



施設内の多目的スペース



フラノマルシェの様子

編集後記

先日、地域の保健推進事業に参加し、熱中症予防についてのお話をうかがいました。昨年、青梅で最高気温 40.8℃を記録し、7月に35℃以上の日が15日、30℃以上の日が26日あったそうです。

一般に高齢者は若い人に比べて熱中症や脱水症になりやすいそうです。なぜならば、筋力量が少ないからで、筋肉が体液の貯蔵庫になっているからだそうです。その予防には、喉が渇かなくても、1日8回を目安に、こまめに水分補給することが重要だそうです。そして、年齢に関係なく水分補給とラジオ体操や軽い運動の運動習慣をつけ、水分を蓄えやすい身体を作ることが大切です。自ら気を付けるだけでなく、まわりの人にも気を配り熱中症にならないように過ごしましょう。

今年も、暑い夏がやってきます！

高橋 邦男 (木村 圭)
 澤本 幹男
 清水 明 宮野 亨

